

**令和4年12月**

**小林市議会定例会提出議案説明書**

提案理由をご説明する前に、現在の市政運営に係る主な取り組み等について、ご報告をさせていただきます。

現在の市政運営につきましては、市議会をはじめ市民各位のご協力により順調に推移しておりますことを、心から感謝申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症対策についてであります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、今月に入り、県内外で感染者数の増加傾向が続いており、流行の第8波の到来が懸念されるなど、未だ予断を許さない状況が続いているものと考えているところであります。

これから、年末年始に向けて、更なる感染の拡大や、季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されていることから、引き続き「感染拡大の防止」と「社会経済活動の維持・再生」の両立を目指すことを基本的な考え方とし、最大級の警戒感をもって対策に取り組むとともに、県、西諸医師会その他関係機関との連携のもと、新型コロナウイルスワクチン接種を推進してまいります。

次に、ＪＲ吉都線の利用促進についてであります。

高校生の通学手段等として重要な役割を担っておりますＪＲ吉都線におきまして、去る１０月２０日に、ＪＲ九州のクルーズトレイン「ななつ星 in 九州」が初めて運行いたしました。

当日は、小林駅前の中央ふれあい広場に約600人が集まり、列車を出迎えたほか、西小林駅や沿線でも多くの方々から温かい歓迎があったところでもあります。

「ななつ星 in 九州」の運行により、JR吉都線の周知が図られ、その利用促進に弾みがつくことを期待しているところでもあります。

次に、地方創生の取り組みについてであります。

現在、本市では、市民総ぐるみで本市の魅力を発信する「ハッシンコバヤシ！！」と銘打ったプロモーションを展開しているところではありますが、この取り組みの一環として制作いたしましたコンセプトムービーが、

「第33回UMK CM大賞」を受賞いたしました。

また、ふるさと納税の取り組みを表彰する「ふるさとチョイスアワード2022」のチョイス自治体職員部門におきまして、SDGsの視点を取り入れた本市のふるさと納税の取り組みが評価され、地方創生課の職員が、県内で初めてとなる大賞を受賞いたしました。

これらの賞の受賞は、本市の更なる魅力発信と知名度向上につながるものと考えており、これから年末にかけて申込みの最盛期を迎えるふるさと納税の促進につながるものと期待をしているところであります。

次に、健幸のまちづくりについてでありま

す。

去る10月23日に、「第51回健幸こぼやし大運動会～スポレク2022～」を開催したところ、地域や事業所、学校などによる計52チーム、約1,400人の方に参加いただき、天候にも恵まれ、さわやかにスポーツを楽しむイベントとして、大きな盛り上がりを見せたところであります。

また、「こぼやし健幸ポイント事業」につきましては、これまでの3年間で延べ2,500人を超える参加をいただいているところであり、さらに、市民団体等が主体となったウォーキング大会が市内各地で開催されるなど、市民の皆様の健康づくりへの動機付けや意識の向上が着実に図られているものと考えることから、今後も引き続き、健幸

のまちづくりを推進してまいります。

次に、商工観光の振興についてであります。

硫黄山の火山活動の影響で、一部区間で通行止めが続いていた県道1号線について、明日午前9時から、約4年9か月ぶりに通行止めが解除されることとなりました。

通行者の安全対策のため、通行ができるのは週末の日中に限り、また、一部車両の通行が制限されるなど、限定的な通行再開となりますが、本路線は地域の観光をはじめとする経済活動の重要な道路であることから、観光関連団体や沿線施設の事業者の皆様とともに、地域経済の活性化に期待を寄せているところであります。

また、9月から10月にかけて、市内の各観光施設において「生駒高原コスモス祭り」、「出の山NAORAI」、「のじり湖祭」などのイベントが開催され、市内外から多くの観光客にご来場いただくとともに、宮崎市と都城市のショッピングモールでは「須木栗フェア」が開催され、ともににぎわいを見せたところであります。

なお、あさって27日には、3年ぶりとなる「こばやし秋まつり」が開催されますが、今後も新型コロナウイルス感染症対策にも十分に配慮しながら、引き続き地域経済の活性化に向けた取り組みを進めてまいります。

次に、スポーツの振興についてであります。

去る10月29日に行われました全国高等

学校駅伝競走大会宮崎県予選会におきましては、小林高等学校男女駅伝部が2年ぶりにアベック優勝を果たし、12月に京都市で開催されます全国大会に出場することとなりました。

また、去る9月17日から11月6日にかけて行われました全国高等学校バスケットボール選手権大会宮崎県予選会におきましては、小林高等学校男女バスケットボール部が昨年度に引き続きアベック優勝を果たし、12月に東京都で開催されます全国大会に出場することとなりました。

なお、小林高等学校の男女駅伝部と男女バスケットボール部がそろって全国大会に出場するのは、9年ぶりのことであり、小林高等学校の男女駅伝部及び男女バスケット

ボール部の全国大会での活躍を期待しているところであります。

それでは、以下、議案について、ご説明を申し上げます。

議案第 95 号令和 4 年度小林市一般会計補正予算第 12 号につきましては、歳入歳出それぞれ 7 億 9,517 万 8,000 円を増額し、予算規模は 300 億 1,752 万円となります。

まず、歳入につきましては、国県支出金、繰越金等を追加計上するものであります。

次に、歳出の主なものをご説明申し上げます。

総務費につきましては、各種補助事業の前年度事業費の確定に伴う国県支出金の返還金等を計上するものであります。

民生費につきましては、新たにこども応援基金の積立てを行うための費用等を計上するものであります。

衛生費につきましては、HPVワクチンの任意接種費用を助成するための費用等を計上するものであります。

農林水産業費につきましては、航空レーザ測量を行うことにより森林の地形情報を把握するための費用等を計上するものであります。

商工費につきましては、台風14号により被災した観光施設の修繕に要する費用等を

計上するものであります。

土木費につきましては、健幸のまちづくり拠点施設の整備において、デザインビルド方式による効果をより一層高めるとともに、適正かつ円滑にデザインビルド事業者を選定するための費用等を計上するものであります。

教育費につきましては、小中学校における電気料の増額等を計上するものであります。

災害復旧費につきましては、台風14号により被災した農地、農業用施設、道路、河川等の復旧に要する費用を計上するものであります。

なお、林業管理費ほか10事業につきましては、事業の完了が翌年度にわたることが

見込まれることから、繰越明許費として予算計上するものであります。

議案第96号令和4年度小林市国民健康保険事業特別会計補正予算第4号につきましては、療養給付費負担金の増額等を計上し、歳入歳出それぞれ2億5,677万8,000円を増額するものであります。

議案第97号令和4年度小林市介護保険事業特別会計補正予算第3号につきましては、成年後見制度の市長申立に要する費用の増額を計上し、歳入歳出それぞれ30万7,000円を増額するものであります。

議案第98号令和4年度小林市後期高齢者医療事業特別会計補正予算第3号につきましては、高齢者の保健事業と介護予防の一体的

実施に伴う一般会計への繰出金を計上し、歳入歳出それぞれ1,023万8,000円を増額するものであります。

議案第99号令和4年度小林市水道事業会計補正予算第5号につきましては、収益的支出において、電気料及び動力費の増に伴う営業費用1,540万円を増額するものであります。

議案第100号令和4年度小林市下水道事業会計補正予算第3号につきましては、収益的収入において、消費税還付金の増に伴う営業外収益49万6,000円を増額するとともに、収益的支出において、光熱水費、汚泥処分委託料等の増に伴う営業費用546万円を増額するものであります。

議案第101号令和4年度小林市病院事業会計補正予算第3号につきましては、資本的支出において、固定資産購入費の増に伴う建設改良費等522万1,000円を増額するものであります。

議案第102号小林市個人情報保護法施行条例の制定及び議案第106号小林市情報公開条例等の一部改正につきましては、デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の制定により、個人情報の保護に関する法律の一部が改正されたことに伴い、同法の施行に必要な事項を定めるために条例を制定するとともに、本市の関係条例について所要の整備を行うものであります。

議案第103号地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に

関する条例の制定並びに議案第108号  
小林市職員の定年等に関する条例の一部改正  
及び議案第109号小林市職員の退職手当に  
関する条例の一部改正につきましては、地方  
公務員法の一部が改正されたことにより、  
本市職員の定年を段階的に引き上げることに  
伴い、本市の関係条例について所要の整備を  
行うものであります。

議案第104号小林市こども応援基金条例  
の制定につきましては、市民が安心して結婚  
し、子どもを産み育て、将来を担う子ども  
たちが健やかに育つ環境づくりを推進する  
ための基金を設置することに伴い、条例を  
制定するものであります。

議案第105号小林市の政策推進における  
組織及びその任務に関する条例の一部改正に

つきましては、効率的かつ効果的な行政経営を推進するため、本市の行政組織の改編を行うことに伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第107号小林市議会議員及び小林市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正につきましては、公職選挙法施行令の一部が改正されたことに準じ、議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に要する経費に係る限度額を引き上げることに伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第110号小林市農業集落排水処理施設条例の一部改正につきましては、漆野原地区の農業集落排水使用料の改定に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 1 1 1 号小林市下水道条例の一部改正につきましては、野尻処理区の公共下水道使用料の改定に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 1 1 2 号指定管理者の指定につきましては、野尻町保健福祉センターの管理を行う指定管理者を、社会福祉法人小林市社会福祉協議会に指定することについて、議会の議決を求めるものであります。

議案第 1 1 3 号及び議案第 1 1 4 号の定住自立圏形成協定の変更につきましては、本市がえびの市及び高原町とそれぞれ締結している定住自立圏形成協定の一部を変更することについて、議会の議決を求めるものであります。

なお、先の議会運営委員会でご説明をさせていただきましてとおり、去る11月11日に、国家公務員の給与改定に関する法案が臨時国会において成立したところでありますが、本市においては、今期定例会中に職員団体との協議が調った場合には、人事院勧告に準じた給与改定に関する議案を追加提案させていただくこととしております。

また、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策等に関し、今後、新たな予算措置等が必要となった場合につきましては、引き続き本市の状況を十分に見極めながら、速やかに関係議案を追加提案させていただくこととしております。

以上、よろしくご審議のほどお願いを

いたします。